

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-5 生活衛生の充実
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	薬事衛生課長 伊藤 耕	電話番号	0852-22-5257
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	医薬品等の安全確保事業		
目的	(1) 対象	薬局等を利用する県民	
	(2) 意図	医薬品等が安全に提供される体制を確保する	
事業概要	医薬品医療機器法、毒物及び劇物取締法及び麻薬及び向精神薬取締法に基づき、許可、監視、指導等を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	違反発見率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		6.30	6.20	6.10	6.00	
式・定義	違反発見施設数/立入検査施設数×100		実績値	5.80	3.60	2.60	3.90		%
			達成率		142.90	158.10	136.10		%
指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位		
								目標値	0.00
式・定義									
								実績値	0.00
			達成率	0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	4,187	13,079
うち一般財源(千円)	4,187	6,186

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

監視対象約8,400施設中、1,309施設に対して立入検査を実施し、51の施設で発見した違反について必要な指導を行った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

県内の薬局、医薬品販売業の店舗、毒物劇物販売業の店舗等における医薬品等の管理が適正であるか確認され、不適正である場合には指導によって改善が図られた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

医薬品販売業の店舗等において、いわゆる健康食品について医薬品的な効能効果を謳った広告が見られる。

②困っている状況が発生している「原因」

違法の疑いがある広告は、その製品の製造販売者が販売促進のために販売店に持ち込んでいることが多い。

③原因を解消するための「課題」

違法な広告は、自ら作成していなくてもそれを掲示することが違法となるということについて、医薬品販売業者等の認識が不足しており、また、店舗に広告を掲示する際の確認不足も考えられる。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き医薬品販売業者等に対する監視指導を実施し、違法な広告を行った者が県外に所在する場合は、所管の都道府県等へ通報等する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）